

## 2. 2020年度 収支決算書

2021年6月18日

一般社団法人 ライフデータイニシアティブ

## 2. 2020 年度 収支決算書

2020年度の収支決算書を以下に記す(図表1)。

図表1：2020年度収支決算書(認定匿名加工医療情報作成事業者)

(単位：千円：税込み)

項目		2020年度決算	記事
①繰越金額		57,024	2018年度繰越金額
②収入	匿名加工医療情報利活用事業売上	56,650	
	その他収入	4,905	事務室貸与料等
	雑収入	1	受取利息等
	収入	61,556	
③支出	③-1 組織運営費	21,775	認定事業者の事業運営に関わる費用 (人件費、オフィス費用、諸経費、その他委託費等)
	③-2 業務委託費 (認定医療情報等取扱受託事業者)	3,000	認定医療情報等取扱事業者の匿名加工医療情報及び統計情報作成・提供に必要な設備、分析要員等に関わる契約に基づく支出
	③-3 医療情報収集等に関わる費用	84,000	医療情報取扱事業者からの情報収集基盤に関わる費用
	③-4 サイバーセキュリティ保険に関わる費用	2,845	情報漏洩発生時のサイバーセキュリティ保険費用 (費用損害、賠償損害)
	支出(合計)	111,620	
収支差額(翌期へ繰越) ①+②-③		6,960	

### 2-1. 2019 年度繰越金額 (図表 1 ①)

2019年度会計により2020年度繰越金額として57,023,842円を計上した。

### 2-2. 事業活動収入 (図表 1 ②)

2020年度の事業収入は、主に匿名加工医療情報取扱事業者に対する匿名加工医療情報の提供に関する売上として61,556千円が計上された。  
(研究機関：1件、民間企業：2件)

なお、匿名加工医療情報作成事業等の収入については、COVID-19による新型感染症等の影響により、医療情報取扱事業者からの医療情報の収集事業が当初の計画の通りに進捗しなかったこともあり、医療機関等の研究者、製薬企業等医療関連事業者への匿名加工医療情報作成事業に影響を与えた。

匿名加工医療情報作成事業においては、当初、計画の通り匿名加工医療情報による個人特定リスクは徹底して回避する必要があることも踏ま

え、機微な医療情報を厳格に取扱いながら本認定事業の利活用ユースケースを一つでも多く創出する必要があると認識している。

また、医療情報取扱事業者からの医療情報の収集の遅れによる対策として、本事業の強みである電子カルテ情報、DPC調査データ、レセプトデータを組み合わせ、各種レポート、副作用情報などのテキスト情報を活用し、先進治療における効果分析、投薬後の副作用情報など高度な分析にもチャレンジしながら事業展開を進めている。

このような事業を展開することで、活用ニーズに即した多岐に渡る情報活用やサービスの展開のための取り組みを進め、更なる利活用拡大に向けた基盤拡張を図り、収支の改善を行うことで5カ年での事業計画黒字化を目指している。

## 2-3. 事業活動支出（図表1 ③）

### ③-1.組織運営費（21,775千円）

匿名加工医療情報作成事業においては、2019年度と同様の体制で運営を行う。

事業の安全性と健全性を保つ上で必要となる責任者、一定の要件を満たすアウトソーシングに関わる問い合わせ対応の要員、組織運営に関わる経理的業務を行う要員を想定している。具体的には法人運営に関わる代表理事1名、理事4名、監事1名の6名の役員体制に加え、一定の要件を満たすアウトソーシングに関わる医療情報取扱事業者、国民からの問い合わせ等に対応できる事務員3名の体制で事業運営を実施した。当年度の部門別要員数を（図表2）の通り記す。

2019年度と同様に、居室費用、人件費、利用目的等審査委員会（倫理委員会）の委員手当、経理、法務に関する業務の顧問費用等を計上した。

また、事業の社会認知度の向上並びに事業運営の透明性の確保等を目的にホームページ維持費用等を支出した。

**図表2：部門別要員数**

認定匿名加工医療 情報作成事業者	理事(代表理事含む)	5名
	監事	1名
	事務員	3名

### ③-2. 業務委託費（3,000千円）

認定医療情報等取扱受託事業者への委託費用を計上し、本事業の契約案件数に基づく必要な作業等に関わる費用を支出した。一方で、認定事業を営む上で認定匿名加工医療情報作成事業者と認定医療情報等取扱受

託事業者は事業連携に基づき運営されることから、利用料収入が見込めない事業開始当初は認定医療情報等取扱受託事業者による投資範囲でシステム維持等を行うことで、事業損益の吸収を想定しており、自立運営可能になった時点での受託事業者投資額に関わる費用が黒字化されるよう案件増大に基づく支出計画（認定医療情報等取扱受託事業者の収入計画）を策定している。

### ③-3.医療情報収集等に関わる費用（84,000千円）

医療情報取扱事業者からの医療情報を円滑に行う為に、医療情報取扱事業者の指示の下、認定匿名加工医療情報作成事業者に安全かつ確実に医療情報を提供する情報基盤に伴う費用について、医療情報提供に関する契約に基づき支出している。

### ③-4. サイバーセキュリティ保険に関わる費用（2,845千円）

認定匿名加工医療情報作成事業者としての条件である、情報セキュリティ強化策等の対応としてISMSの継続取得に加え、万が一の場合に備えたサイバーセキュリティ保険への支出を行っている。

## 2-4.収支差額（翌期への繰越額）

2020年度の収支差額は、6,960千円とした。  
次年度の事業運営に関しては、匿名加工医療情報作成事業の売上拡大を図ると共に医療施設への展開や国民、医療情報取扱事業者等への医療サービスの高度化、少子高齢時代に即した様々なサービスの企画・研究に投資し、認定匿名加工医療情報作成事業者としての役割を果たすことを目的に、理事会での承認を得て実行に移すこととしている。